

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
203	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
<b>題名 (原題/訳)</b> Work stress and health risk behavior. 仕事のストレスと健康にリスクのある行動	
<b>執筆者</b> Siegrist J, Rodel A.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Scand J Work Environ Health. 2006 Dec;32(6):473-81. Review.	
<b>キーワード</b> アルコール消費、喫煙、demand-control model、effort-reward imbalance model、健康生活スタイル、体重増加、レビュー	
<b>要旨</b> <b>背景：</b> 仕事の精神的なストレスと健康リスク行動、喫煙や飲酒、食べ過ぎなどとの関係については議論が分かれています。ここでは1989年から2006年までに公表された主な論文について検討した。 <b>方法：</b> 仕事のストレスについてはdemand-control modelとeffort-reward imbalance modelを用いて評価した。健康リスク行動は1989年から2006年に報告された46の研究についてレビューを行った。 <b>結果と結論：</b> 仕事に関連したストレスと不健康な生活スタイルの間には一致した関係を見いだせなかった。肥満や男性の多量飲酒と仕事ストレスとの関係が見られた。喫煙と仕事ストレスについては24の論文が報告されている。demand-control modelのフルモデルが喫煙と有意な相関を報告したのは少数であった(4報)。7報で1 componentsのみが喫煙との関係を報告している。残りの8報はmodel componentsと喫煙とのいかなる関係についても報告していない。喫煙強度の関係も同様で2報が完全に、3報が部分的に、5報は否定的な報告をしている。唯一の追跡調査では喫煙との関係は否定的であった。よってdemand-control modelでは仕事ストレスと喫煙との関係については一致した結果は認めなかった。飲酒と仕事ストレスについては18の論文が報告されている。縦断的研究の6つの報告のうち4つの研究が、特に男性において少なくとも多量飲酒あるいはアルコール依存と仕事ストレスとの関係について少なくとも部分的の関係については支持している。この結論は少なくとも両方の仕事ストレスのモデルにおいて認められる。しかし多くの横断的研究ではこの仮説的結論を見出すことはできなかった。体重と仕事ストレスとの関係については22の論文が報告されている。effort-reward imbalance modelでは前向き調査、断面調査で1報ずつが完全に、一つの断面調査が部分的にこれを支持している。demand-control modelでは4つの研究が完全に、8つの研究が部分的にこれを支持しているが10の調査では有意な関係は見られなかった。effort-reward imbalance modelでの検討は少なく、多くはdemand-control modelで検討しており一部のみが両方で検討を行っている。これらより、前者の方が後者に比べて少なくとも同程度には健康にリスク行動の説明ができるように思われる。これらの研究はほとんどが断面あるいは縦断的研究で介入研究がないことがこのレビューの限界である。	